

野菜ひっこぬきアート

教科・場面

造形

授業・実践のねらい

- ・スズランテープを引っ張り、ビリビリ模造紙が破れる感触を感じる。
- ・大きい野菜、長い野菜ができたときの達成感を味わう。
- ・友だちと野菜の比べあいをすることで他者を意識し、野菜の鑑賞をする。

対象の児童・生徒

高等部 グループ

言葉かけに対しては口や指を動かしたり、視線や瞬きで答えたりする

教材・教具

模造紙、絵の具、棒で長くしたローラー・刷毛
スズランテープ、セロハンテープ、ハサミ
カッターナイフ

工夫したところ

引っ張る切り込みを変えることでいろいろな大きさ、形の野菜を収穫できるようにした。

授業展開・教材の使い方・実践の内容など

- 1、 模造紙に棒で長くしたローラーや刷毛をつかって紫、オレンジ、緑の色を塗る。
- 2、 絵の具が乾いた模造紙をセロハンテープで床に固定し、ハサミやカッターナイフで引っっこ抜くための切り込みをいれ、スズランテープを貼る。
- 3、 指や腕全体をつかってスズランテープを引っ張って引っっこ抜く。紫はサツマイモ、オレンジは人参、緑はキュウリ、無地の白は大根に見立てて引っっこ抜く。
- 4、 みんなでレイアウトを考えながら大きい黒模造紙に野菜を貼って共同作品の完成。



授業・実践を通じた児童生徒の変容

- ・支援者とコミュニケーションをとりながら何度も野菜を引っっこ抜く工程を行うことで互いに要領がわかってきて、より大きく長い野菜が収穫できるようになり、誇らしい表情をみせる生徒がいた。
- ・支援者が生徒の自発的な動きを待ったり、動きが出やすい姿勢、位置を工夫したりすることで生徒が自発的に指や腕を動かして引っっこ抜く様子がみられた。